

妙義山の10年後をつくる仕事。



求む!
山好き

オンライン説明会申込受付中!

群馬県富岡市 地域おこし協力隊

富岡市ってどんなところ？

世界遺産・富岡製糸場で知られる人口約4万5千人のまちです。

東京までは新幹線利用で約90分。高崎市までは車で約30分ほど。市街地にはスーパーやドラッグストア、病院など日常生活に必要な施設は一通りそろっています。

自然に囲まれた環境で暮らしながら、必要なときには都市部にもアクセスしやすい。

そんな"ちょうどいい田舎"が富岡市です。

【富岡市を象徴するモノ・コト・キーワード】

- 世界遺産「富岡製糸場」
- 日本三奇勝「妙義山」
- ぐんまサファリパーク
- 雪は年に数回だけ。あまり積もらない。
- ご当地グルメ：ホルモン揚げ、おっきりこみ、
- 富岡クレープ



地域おこし協力隊を募集する理由って？

今回の募集では、富岡市の山間部に位置する妙義エリアを舞台に、妙義山の未来づくりに挑戦する地域おこし協力隊を募集いたします！

妙義山の未来づくりに向けて、山岳会等の地域団体や行政は、連携しながら日々取り組みを進めています。

その中で私たちが必要としているのが、「外からの視点」を持つ人材です。

地域の中だけでは気づきにくい魅力や可能性、当たり前になっている風景や文化。その価値を新たな視点で見つめ直し、行動に変えていく力を求めています。

ただし、単に外から意見を言うだけでは十分ではないと考えています。

実際に富岡市に根を張り、地域の人々と関わりながら活動することで、地域の想いや課題に対して当事者意識が生まれ、地域への理解や愛着が深まると思います。

きっと富岡市を「おらがまち」と呼べるようになると思います。

そうして初めて、外からの視点と地域への想いが結びつき、妙義山の未来につながる取り組みが生まれると考えています。

妙義山をこれから先も地域の誇りとして残していくために、今回地域おこし協力隊を募集します。

求めているのは、派手なアイデアや大きな企画ではありません。

地味でも良いから、地域に寄り添い一歩ずつ着実に。

妙義山の未来づくりを私たちと一緒に進めてくれる方をお待ちしています。

地域おこし協力隊を受け入れるにあたっての想い

【富岡市／妙義ビジターセンターとしての想い】

私たちが求めているのは、単なる観光PRのスキルを持った人ではありません。

何よりも、妙義山を好きになり、この山を未来に残したいという愛と熱量を持っていること。そして、山岳会をはじめとする地域の方々と信頼関係を築きながら、人と人、人と行政をつなぐ「地域の調整役」として動ける方を求めています。

10年後の妙義山を守っていくために、これまで現隊員が築いてきた地域との信頼や、山の整備・管理に関する技術や経験を引き継ぎながら、次の世代へつないでいってください。

そして、ビジターセンターを単なる観光案内所ではなく、妙義山に息づく歴史や文化、山の魅力を深く知り、伝えることのできる「情報発信の拠点」へと育ててほしいと考えています。

3年間の任期を終えた後には、山岳ガイドなど、妙義山に関わる仕事を続けながら地域に定住し、これからの妙義山を担う次の世代を引っ張っていく存在になってくれることを願っています。
その挑戦を、市も全力でサポートします。

あなたの力で、10年後の妙義山を一緒につくりませんか。

どんな活動をするの？（その１）

今回の募集にあたっては以下のミッションを設定しています。

① 妙義山の整備活動の活性化

妙義山の未来づくりにおいて、まず大切なのは「安全な状態で登山者を迎え入れること」です。

そのためには、登山道の維持管理や点検など、日々の整備活動が欠かせません。
現在は地元山岳会の皆さんを中心に整備活動が行われていますが、メンバーの高齢化が進んでおり、将来に向けた担い手の確保が課題となっています。

そこで山岳会や関係団体と連携しながら整備活動に携わるとともに、新たな担い手づくりや継続的に活動できる仕組みづくりに取り組んでいただきたいと思います。

人を呼ぶ前に、まずは受け入れるための土台を整えること。妙義山の未来を支える基盤づくりが最初のミッションです。

② 妙義ビジターセンターを拠点とした交流・誘客の促進

妙義ビジターセンターは、登山者や観光客が妙義山と出会う玄関口であると同時に、地域の人々が集う拠点でもあります。
このセンターを拠点に、より多くの人々が妙義山に興味を持ち、訪れたいと思うきっかけづくりに取り組んでいただきたいと思います。

例えば、芝生広場を活用したイベントや交流の場づくり、館内展示や掲示物の充実、登山や自然に関する情報発信など、センターの魅力向上につながる活動を想定しています。

対象は登山者や観光客だけではなく、地域の方々にも気軽に立ち寄ってもらい、妙義山との関わりを深めてもらうことも大切な役割です。

センターを、人と妙義山、人と地域をつなぐ拠点へ。その可能性を広げていくことがミッションです。

参考▶妙義ビジターセンターホームページ： <https://mt-myogi.net/>

どんな活動をするの？（その2）

ここで紹介した活動はあくまで一例です。

私たちが目指しているのは、妙義山の10年後を見据えた基盤づくり。
その目的につながる活動であれば、ぜひ積極的に提案してください。

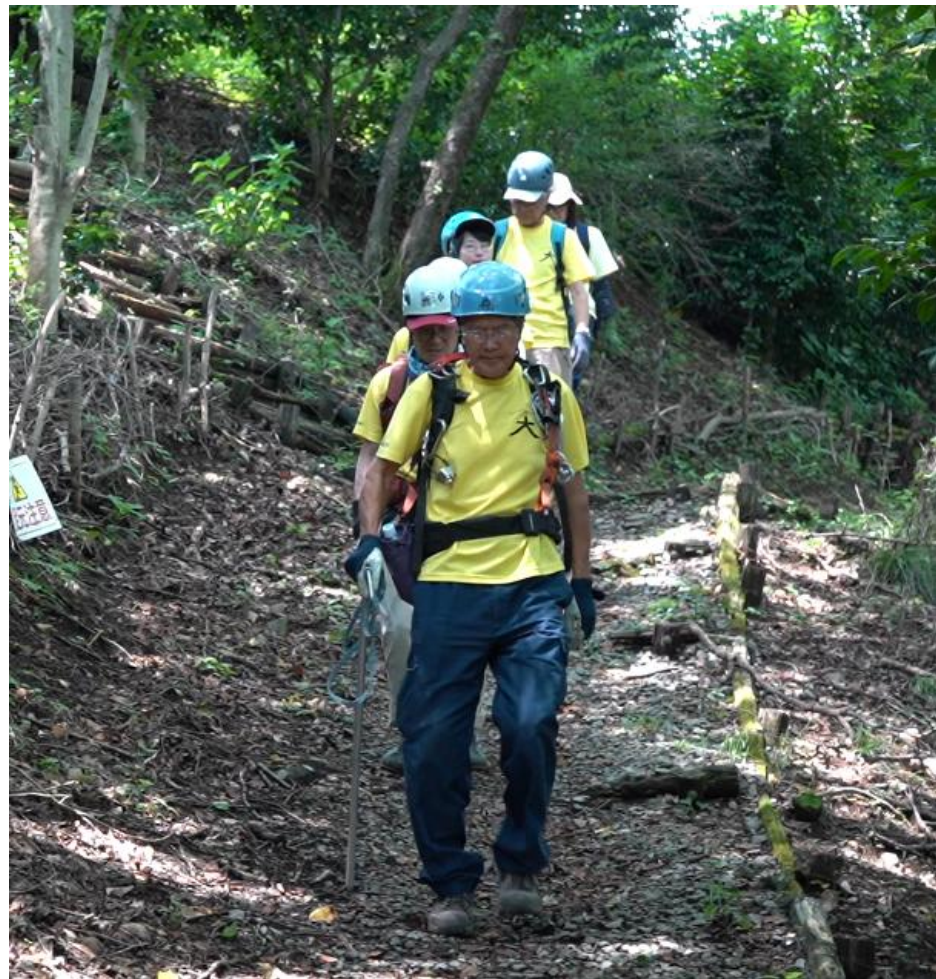
地域おこし協力隊だからといって、すべてを一人で背負う必要はありません。
行政やビジターセンター、地域団体など、さまざまな関係者と相談しながら、一緒に悩み、一緒に考え、一緒に形にしていきましょう。

また、活動のフィールドは富岡市内に限りません。妙義山を取り巻く近隣市町村や関係団体との連携・コラボレーションも大歓迎です！

あなたならではの視点と行動力で、妙義山の未来づくりに挑戦していただけることを期待しています。



登山道整備の様子



登山道整備の様子

Myogi Myogi Visitor center
富岡市妙義ビジターセンター



同じ地域に現役協力隊がいます！

妙義エリアには、地域おこし協力隊として活動している先輩隊員がいます。

活動中の悩みや地域との関わり方、任期後のことなど、気軽に相談できる身近な先輩がいることは、この地域の大きな魅力のひとつです。

また、地域や関係団体も協力隊の受入れ経験があるため、行政と地域全体で活動をサポートしていく環境があります。



【片山さんからのメッセージ】

日本三奇勝『妙義山』という大きな観光資源のある妙義エリアですが、現状では妙義山の魅力が観光に活かせていません。

新しく来てくださる方には、様々な手法で妙義のPRにチャレンジしてほしいですし、「0→1の観光づくりをしてみたい！」という方にはもってこいの稽古場になると思います。

私で力になれることがあればお手伝いしますので、お山が好きな方、歴史文化が好きな方、観光戦略を立てるのが好きな方、是非妙義と一緒に盛り上げましょう！

3年間のロードマップ

3年間のロードマップ（イメージ）

以下は大まかな3年間のロードマップです。もちろん、活動内容はこれに限りません。
あなたの想いや得意なこと、地域の状況に応じて、行政や地域の皆さんと相談しながら柔軟に活動を進めていきましょう。
※本業に支障のない範囲で副業も可能です（要相談）。

▶ 1年目 まず「地域を知る」

- ・地域や妙義山のことを知しましょう。
- ・山岳会や地域住民、地域団体など、多くの人と関わりながら人脈を広げましょう。
- ・山の整備活動や妙義ビジターセンター運営を通じて、妙義山の現状や課題を学びましょう。
- ・地域を歩き、自分なりの視点で妙義山の魅力や可能性を発掘しましょう。
- ・将来の暮らし方や働き方について考え始めましょう。

▶ 2年目 「挑戦」してみる

- ・1年目で得た経験や人とのつながりを活かし、自分なりの企画や提案に挑戦しましょう。
- ・妙義ビジターセンターの活性化や芝生広場の活用など、地域課題の解決に向けた取り組みを進めましょう。
- ・登山者や地域住民との関わりを深めながら、妙義山の価値を高める活動にチャレンジしましょう。
- ・将来の仕事づくりも見据えながら、山岳ガイドなどの資格取得やスキルアップに挑戦することも可能です。
- ・自分の将来につながる活動や仕事の可能性を探りましょう。

▶ 3年目 「定着」に向けて次の一步をつくる

- ・これまで取り組んできた活動をブラッシュアップし、地域に根付く仕組みへ育てていきましょう。
- ・任期後の暮らしや仕事を具体的に描きながら準備を進めましょう。
- ・3年間で培った人脈や経験を活かし、妙義山の未来を担うプレーヤーとして次の一步を踏み出しましょう。

【キャリア形成の一例】

任期終了後の進路は人それぞれです。

地域や行政があなたの将来を決めることはありませんが、妙義山や地域での活動を通じて、例えば次のようなキャリアにつながる可能性があります。

→山岳ガイド、自然体験プログラムの企画・運営、アウトドア関連事業の起業、観光コーディネーター、地域資源を活用した事業づくり

どんな人が向いてるの？（その１）

【MUST】 こんな人と一緒に活動したい／こんな人に来て欲しい

- ・ **妙義山や自然に興味・関心があること**
専門知識や経験は問いませんが、山や自然に関わる活動を楽しめる方を歓迎します。
- ・ **地域の人話を聞ける人**
行政、山岳会、地域住民など、多様な関係者と連携しながら活動を進めます。
- ・ **現場で活動できる方**
デスクワークだけでなく、山の整備活動やイベント運営など、現場で汗をかく活動もあります。
- ・ **妙義山の未来づくりに主体的に関われること**
与えられた業務をこなすだけでなく、自ら考え、提案しながら活動できる方を求めています。
- ・ **3年後の自分の姿を考えられる人**
ぼんやりとでも3年後の将来を見据えている方が嬉しいです。我々もそこに寄り添えたらと思っています。
- ・ **運転免許を持っている方（AT限定可）**
着任後の免許取得も可能です。
- ・ **土日勤務が可能な方**
イベント等で土日出勤の可能性があります。
- ・ **富岡市へ定住の意思がある方**
任期後も富岡市へ定住し、地域のプレイヤーとして活躍してくれると嬉しいです。

どんな人が向いてるの？（その2）

【WANT】こんなスキルや経験、想いがあれば嬉しい

- ・ 登山やキャンプなどアウトドア活動の経験がある方
- ・ 自然環境の保全や山の整備活動に興味がある方
- ・ SNSやWebサイトなどを活用した情報発信の経験がある方
- ・ イベントの企画や運営に携わった経験がある方
- ・ 写真撮影や動画制作、デザインなどの経験がある方
- ・ 人と人をつなぐことが好きな方
- ・ 地域づくりや観光振興に関心がある方
- ・ ガイドや自然体験プログラムの企画・運営に興味がある方
- ・ 自分なりの「妙義山の面白さ」を見つけてみたい方

今回の募集にあたり、特別なスキルや経験は求めています。

私たちが大切にしているのは、妙義山や地域への興味・関心、そして「妙義山の未来づくりに関わりたい」という想いです。選考では、これまでの実績やスキルだけでなく、活動への熱意や挑戦したいこと、3年間で実現したいことなどを重視したいと考えています。

ぜひ、あなたの想いや熱意を聞かせてください！

3年後のあなたへ。 (地域おこし協力隊を卒業したらどうなるの？)

私たちは、この3年間の活動を通して、任期後も富岡市に定住し、地域のプレーヤーとして活躍していただけたら嬉しいと考えています。

その形は起業かもしれませんし、就職かもしれません。あるいは複数の仕事を組み合わせた働き方かもしれません。大切なのは、この地域で培った経験や人とのつながりを活かしながら、自分らしい暮らしや働き方を見つけていただくことです。

3年間活動すれば、きっと多くの人との出会いや経験が積み重なります。地域のことを知り、妙義山の魅力や可能性に触れる中で、自分なりの将来像も少しずつ見えてくるはずです。

実は、私たちがあえて卒業後の進路を細かく定めていないのには理由があります。

それは、地域や行政があなたの未来を決めたり、強制したりしたくないからです。

一方で、妙義エリアには大きな可能性があります。例えば、妙義山では山岳ガイドや自然体験のコーディネーターなど、今後求められる担い手が不足しています。妙義山の魅力や安全な登山文化を次の世代へつないでいく役割には、まだまだ多くの可能性が残されています。

もちろん、それだけが正解ではありません。

3年間の活動の中で妙義山や地域の可能性を発掘し、自分なりのビジネスや仕事につなげていく。そんな未来も私たちは応援したいと考えています。

3年後の進路については、活動が始まってからも日頃から相談しながら、一緒に考えていきましょう。あなたにとって最善の選択ができるよう、地域や行政も伴走していきます。

あなたへのサポート体制

- 着任時に地域に慣れていただくサポートを行います。

例) 着任時の住居・車の紹介、ご近所への挨拶回り、地域内キーパーソンへのお繋ぎなど

- 自治体、関係者との定期的なミーティングを開催します。

活動や生活の悩みを自治体職員や担当者へ相談できる機会をつくれます。

- 広報紙への掲載や活動報告会の実施など、住民に向けて地域おこし協力隊の活動を周知する機会を設けます。

- 地域おこし協力隊卒業後の定住を見据えた募集です。3年後の定住に向けた活動もフォローします。

- 適宜、第3者サポート機関（NPO法人ぐんま地域おこし協力隊ネットワーク）への相談を行えます。

- 地域おこし協力隊卒業時の補助金制度あり（支給条件あり）。

- └ 地域おこし協力隊員等の起業・事業承継に要する経費：100万円／1人

- └ 任期終了後の隊員が定住するための空き家の改修に要する経費：補助率0.5（補助上限額100万円）

応募してみようかな、と思ったら。

地域おこし協力隊へ着任後に「こんなはずじゃなかった」というミスマッチを防ぐため以下のような段階を踏んだ採用フローを準備しております。

① Web説明会への参加

以下の日程でWeb説明会を開催いたします（@Zoom）。

Web説明会では、本募集の詳細な説明や富岡市の暮らしぶりの説明、また現役地域おこし協力隊より協力隊のリアルをお伝えいたします。
質疑応答の時間も設けますので、不安解消の機会としてお気軽にご参加ください！

※Web説明会への参加は必須ではありません。

日程：10/7(水) 19:00-20:00（予定）

場所：オンライン（Zoom） ※お申し込み確認後、メールにて参加URLをお送りさせていただきます。

申込：<https://forms.gle/HbCvAqGD7EGPWmFv5>

② 第1次選考

書類選考を実施します。

③ 第2次選考

第1次選考の合格者を対象に面接試験を実施します。

詳細については、第1次選考の結果の通知の際にお知らせします。

また、選考に要する交通費及び宿泊費等は自己負担となります。

④ 最終選考結果の報告

最終結果はEmail等で通知します。